**釣　行　記**

**中部の沖釣り情報**

**＜予測＞**

**＜速報＞**

（、

陸奥湾（青森県）のマダイに

一つテンヤで初挑戦 ‼

　　　8月14日（水）故郷・青森の陸奥湾で、乗っ込みマダイに挑戦しました。 当日は、風も波もなく穏やかで、絶好の釣り日和でしたが、底潮が早かったため少々苦戦しました。

　　　しかし、船長の指導で、56ｃｍの綺麗なマダイをゲットできましたので、その模様を報告します。

　　　朝4時30分、6人の釣客を乗せた「福栄丸」は、鶏沢（にわとりざわ）港を静かに

　　出港。　10分で最初のポイントのホタテ養殖筏前に到着。　筏に船を固定し終わった船長

から「水深32ｍ。30ｍ前後を誘ってみて」という指示が出た。

　私は、出港前に船長から教わった通り、3号テンヤに

冷凍エビをまっすぐに付け、孫バリを頭の中心部に刺して

静かに投入。　25mから30ｍまで潮に乗せて、フワ

フワとフォーリングさせながら魚を誘った。 残念ながら、

反応は全く無し。　船中も全く静かなまま、時間だけが

過ぎていった。

[ 一つテンヤ・エビ付き ]

　　　船長は「おかしいな？魚は居るんだけどなあ」と言い

　　ながら養殖ロープに付着した貝を細かく砕いて撒いてくれる。

　　　9時頃、隣で釣っていた妻が、「タイはタイのようだけど、小さいみたい」と言いながら

リールを巻きだした。　上がってきたのは、26ｃｍのかわいいマダイ。

　エサを付け替え再投入。　落とし込んでいる最中、サオ

先が少しだけ引き込まれた。　その数秒後、サオ先が水面

に突き刺さった。 今度は、中々の型のようである。

　サオ先が何度も引き込まれている。水面に浮き上がり、

タモ入れされたのは、65ｃｍの雄マダイ。

時合が来たらしく、船尾の方も賑やかになってきた。

「70ｃｍが上がったよ」と船長から報告があった。

[ マダイのタモ入れ ]

この時合も長続きせず、またまた船上が静寂につつまれた。

　10時過ぎ、私のサオを持つ手にモゾモゾという前アタリ

が伝わってきた。 そのまま待っていると、ずっしりとした

重みがサオ先にかかった。　その途端、急激にサオ先が引き

込まれた。　サオ先を上げ、リールを早回ししてハリ掛かり

を確認。 ゆっくりとヤリトリしながら巻き上げた。　姿を

現したのは56ｃｍのマダイ。 船上に横たわっても、恨めし

そうに私を睨んでいる。

[ マダイと船長と一緒に ]

　　　その後は、アタリの無いまま沖上がり時間を迎えた。

　　　本日の私の釣果は、56cmのマダイ１匹。 妻は26・65ｃｍのマダイ2匹。 船中合計

釣果は、マダイ5匹と大きなフグ2匹であった。

　　　例年、陸奥湾では、11月前半まではマダイが釣れ続くとのことです。 青森方面にお出

かけの予定のある方、是非とも魚影の濃い陸奥湾の一つテンヤマダイに挑戦してみて下さい。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　< 平尾 義弘　松岡 隆春　　8／18＞

　　 **[7／6　松岡 隆春 ]**

**＜ 浜辺丸 ℡0599‐25‐2259 ＞**

**修二船長のお父さん石原 義平大船長（85才）には“鳥羽方面でのマダイの釣り方の**

**基本を教えていただきました。 両船長のますますのご活躍を祈念いたします。**

**＊私事で恐縮であるが、浜辺丸さんとは30年来の付き合いをさせていただいており、**

**（ ＣＤは、1枚1200円）**